

学力向上に向けた取り組み

函館市立青柳小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着
考えをすすんで表現する力の育成
文章の内容を読み取る力の向上

2 課題解決の具体策

個に応じた様々な指導方法を取り入れた学習過程
小集団での話し合い活動を取り入れた学習過程
朝読書や読書週間などの取り組みの推進

3 取り組みの概要

について

・教育支援員や加配教諭を積極的に活用し、チームティーチングや少人数指導などできるだけ一人一人の子どもに応じた指導や支援ができるよう努めている。また、学年を追うごとに定着度に個人差がある算数科では算数的活動の時間を十分に保障し、一人一人が自分なりの方法で課題解決にじっくりと取り組めるようにしている。さらに、レディネスをとり、子どもがつまづきそうな部分をできる限り予測し、スモールステップをふんだ学習過程を計画するよう努めている。

について

・算数科を中心に話し合い活動を意図的に学習過程の中に取り入れた授業の実践に努めている。話し合いの場を小集団にすることで、話すことに苦手意識をもっている子に安心感を与え、一人一人の子どもに、より多くの話す機会が与えられ自分の考えを表現することに慣れることがねらいである。さらには、話したり、聞いたりすることで自分の考えをより明確にしたり、深めたり、修正したりすることもできると考える。

について

・毎週1回全校一斉の朝読書に継続して取り組むとともに、11月には校内の読書週間を設定し、教職員やボランティアによる本の読み聞かせ集会を実施したり、図書委員会主催の読書集会を行い、読書に親しむ取り組みを一年を通して行っている。また、学校図書や学級文庫の充実に努め、読書の機会を増やしていくことで書かれている内容を読み取る力や多様な文章表現に対する理解力を身につけさせている。

4 成果と課題

話し合い活動に継続的に取り組んだことで表現することに消極的だった子も小集団の中では安心して意見を言えるようになってきた。また、話し合いの内容も単な発表会から自分の考えとの相違点を見つけたり、友達の考えの良さを発見するなどお互いを高めあう活動内容になってきた。

課題解決や話し合い活動の時間を十分に確保することはなかなか難しい。またこの取組が、イコール学習内容の定着につながっていくようにすることも課題である。